

科目名	現代の社会と人間	担当教員	宇都宮輝夫 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	教養科目	必修	2年次	前期	1単位	講義

科目概要	前近代社会と比べて、近現代社会の特徴は、社会分化が著しく進展したこと、それによって同一の社会内部にあってさえ現実認識に関しても価値規範に関しても多元化が進んだことである。これがもたらす重要な帰結として、確固たるアイデンティティ形成が難しくなったこと、それに伴って人間と人間とが全人格的に共感し合い理解し合うコミュニケーションが成立しづらくなり、緊密に連帯した人間関係の構築が困難になったことが挙げられる。こうした厳しい事実認識の上に立って、それらの諸困難を乗り越える道筋を探求する。
学習目標	社会を前近代社会と近代以降の社会とに分けて考え、前者との比較において後者の諸特徴を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	社会分化とはどのようなことか	分業の発達と社会分化。均質的社会から多元的 社会へ	人類史は、わずかの分業と分化の状態から高度 な分業・分化社会へと動いてきたことを理解する	
2	分化のもたらすもの	社会内部の多元化。異質なものの並存	分化が進めば、社会成員各自の知識内容が異な ってくることを伴うことを理解する	
3	規範の多様化	常識の通じない社会	成員各自の知識総体の相違は、生活の基本様式 に関する知識の違いをももたらすことを理解 する	
4	アイデンティティのあり方	拘束の強い社会はアイデンティティが確か、自 由な社会は不安定なアイデンティティ	自由はないが生き方の確かな社会と、自由だが どう生活したらよいかわからなくなる社会の違 いを理解する	
5	都市化、伝統の弱体化	都市は異質な常識の同居空間であり、それが伝 統を掘り崩す	異なる文化伝統を持つ人々が接し合えば、それ ぞれの伝統の権威を相互に掘り崩すことにな る	
6	排他的拘束と他者を認める寛容	社会は分化が進めば寛容の度合いも進む	社会が一元的で、すべてが自明な世界は、異な る見解・価値観を排除することを学ぶ	
7	分化と社会的連帯	分化と連帯の逆相関。生きづらい現代	すべてが相対化された社会は、すべてが不確か な社会でもあり、人間は生き方の自信を失うこ とを理解する	
8	連帯と生きがい	生きがいを与えてくれるのは人のつながりであ る	確かさや安心を与えてくれるのは、論理的真理 性ではなく、社会的一致であることを学ぶ	
評価方法		授業時の発言・討議の評価(20%)、3回の小テスト(30%)、及び学期末筆記試験(50%)で評価する。		
教科図書		教員作成教材		
参考図書		各回の授業に先だって指示をする		
学習の準備		指定した教科書、もしくは事前に配布した資料について予習をしておくこと		
オフィスアワー		在室時はいつでも可		
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験				